HiROSHIMA GLOBAL ACADEMY Junior & Senior High School

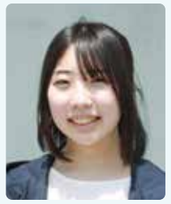
広島県立

広島叡智学園

中学校・高等学校

学校案内

［令和５年度版］



比枝　美桜
Mio Hieda
広島叡智学園中学校・高等学校 生徒会長

生徒からのメッセージ

皆さん、こんにちは。
突然ですが、皆さんはどんな未来を思い描いていますか?
「将来はこれになりたい」「あんなことをしてみたい」、
人それぞれさまざまな夢や希望を抱いていると思います。

もし、具体的な将来の夢が決まっていなかったとしても、「やりたいこと」「好きなこと」は日頃の生活や勉強の中できっと見つけられているのではないでしょうか。 HiGAはそんな皆さんの興味関心や可能性を引き出してくれる学校です。特に、「様々なバックグラウンドを持つ人といろいろな言語で話してみたい」「自分で設定した課題をもとに授業の中で探究してみたい」という人は、HiGAでの生活をEnjoyできると思います。

HiGAの魅力はやはり、たくさんの人と交流できるところにあります。全国各地から集まった同級生はもちろん、他学年の先輩や後輩、高校から入学してくる留学生達、個性豊かな先生方など、色々な考え方、価値観を持つ人との出会いがあります。校内だけに留まらず、未来創造科の授業や日々の生活では、地域の方々と交流する機会もあり、自分自身のコミュニティがどんどん色鮮やかに変化していきます。

HiGAでしか得られない沢山の貴重な経験が皆さんを待っています。皆さんと一緒に学び、生活できる日を楽しみにしています!

HiGA(ハイガ)とは　広島叡智学園の英語名称であるHiroshima Global Academyの頭文字を取った言葉。

SCHOOL EMBLEM 校章

3つの波のイメージで、色は瀬戸内海の色や
日本の伝統色を意識した。
一つ一つの波には HiGA の Mission, Vision, Values を表す。
Mission ＝「平和」
Vision ＝「リーダーとしての心」
Values ＝「学び続けるための知性」
小文字の「h」を想像させる余白を作り、
「広島叡智学園」の頭文字を印象付けられるようにした。
また、その余白は「人」という文字にも見えるようにし、
広島叡智学園に人が集まるデザインにした。

STUDENT VOICE

生徒の声 「校章も自分たちの手で」

最終的に私の考えた原案デザインをもとに様々な方に協力していただき、現在の校章が完成しました。1期生、2期生一人一人がアイデアを出し、生徒それぞれが抱くHiGAへの強い想いも校章に込められています。これら様々な想いを胸に、これからも私たち生徒自身の手でHiGAをここにしかない学びができる場所にしていきたいです。

MISSION
ミッション

学びを通じて平和な社会づくりを実現し続ける存在となることを目指す

TO BE A GLOBAL LEADER IN BUILDING PEACE WITH THE POWER OF “LEARNING”.

VISION
ヴィジョン

社会の持続的な平和と発展に向け、世界中のどこにおいても
地域や世界の「よりよい未来」を創造できるリーダーを育成する

TO FOSTER LEADERS WHO CREATE IN THEIR COMMUNITY "A BETTER FUTURE"
FOR PEACE AND SUSTAINABLE DEVELOPMENT.

「学びの変革」の目指すべきモデルとなる

TO BE AN EXCELLENT MODEL IN "LEARNING INNOVATION".

VALUES
バリュー

「グローバルな視野」と「地域に根ざした心」の双方を大切にし、
主体的に学び続ける「ラーニングコミュニティ」を形成する

TO BE A LEARNING COMMUNITY WHOSE GLOBAL VISION IS ROOTED IN LOCAL CONTEXT.

重点的に育成する力

- 様々な場面で活用できる 知識・技能の深い理解
- 新しい価値を生み出す 創造的・批判的思考力
- 異なる文化・価値観を持つ人々と 協働する力
- 目標に向かって やり抜く力・自信
- 日本語でも英語でも議論・協働できる 高い語学力

これらの特色を全て
備えた公立学校は全国初！

5つの特色

広島叡智学園は
「世界中のどこにおいても、地域や世界の“よりよい未来”を創造できるリーダー」
を育成する、全寮制の県立中高一貫教育校です。
広島叡智学園には「未来に向かう学び」と「世界へと続く扉」があります。

1. 国際バカロレア認定校（MYP及びDP）

2. 実社会の課題解決に挑戦する
国際協働型プロジェクト学習

3. 少人数授業やオンライン交流
などによる英語力の育成

4. 学年を超えた仲間や留学生との
共同生活を行う全寮制での学習・生活

5. 外国人留学生の受入など、
多様性あふれる学習環境

広島叡智学園の国際バカロレア（IB）の特色

国際バカロレア

国際バカロレアとは、国際バカロレア機構（本部ジュネーブ）が提供する国際的な教育プログラムのことです。国際バカロレア（IB：International Baccalaureate）は、1968年、チャレンジに満ちた総合的な教育プログラムとして、世界の複雑さを理解して、そのことに対処できる生徒を育成し、生徒に対し、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせるとともに、国際的に通用する大学入学資格（国際バカロレア資格）を与え、大学進学へのルートを確保することを目的として設置されました。現在、認定校に対する共通カリキュラムの作成や、世界共通の国際バカロレア試験、国際バカロレア資格の授与等を実施しています。

文部科学省 IB 教育推進コンソーシアム「IBとは」より

国際バカロレア認定校（IB World School）

国際バカロレア認定校（IB World School）とは、国際バカロレア機構から、国際バカロレアを実施する環境・体制等が整っていると認定された学校のことです。

MYP（中等教育プログラム）

MYP（Middle Years Programme）は、11歳～16歳までを対象としており、青少年に、これまでの学習と社会のつながりを学ばせるプログラムです。これらを通じて、MYPでは、知識を統合された総体的なものとして示し、生徒がより広く、より複雑なグローバルな課題に対する認識を高めることが期待されています。

文部科学省 IB 教育推進コンソーシアム「MYP（ミドル・イヤーズ・プログラム）」より

DP（ディプロマ・プログラム）

DP（Diploma Programme）は16歳～19歳までを対象としており、所定のカリキュラムを2年間履修し、最終試験を経て所定の成績を収めると、国際的に認められる大学入学資格（国際バカロレア資格）が取得可能なプログラムです。「日本語DP」の対象科目等を除き、英語、フランス語又はスペイン語で実施されます。

文部科学省 IB 教育推進コンソーシアム「DP(ディプロマ・プログラム)」より

全生徒がディプロマ取得を目指します

広島叡智学園中学校・高等学校は、2020年10月にIBのMYP（中等教育プログラム）、2021年5月にDP（ディプロマプログラム）の認定校となったIB World Schoolです。入学時の中学1年生から卒業する高校3年生までの間に、在籍する全ての生徒が一貫したIBの教育プログラム（MYPとDP）を履修するのは、日本の公立学校で初めてです。
本校では、中学校1年生から高校1年生冬までの期間にMYP、高校1年生冬から高校3年生冬までの期間にDPを履修します。

MYPで学び方、学ぶ目的を考えます

本校では、全寮制という環境を最大限に活用し、生徒の学びと日常生活とを関連づけることで、生徒が学ぶことの意義を実感できるように工夫しています。MYP（中学校1年生～高校1年生）の学習においては、複数の教科の見方や考え方を用いて、課題発見・解決を行う学際的単元の学習を行います。例えば、中学校1年生では、数学と美術のそれぞれの見方を活かした包装紙のデザインを行います。また、中学校2年生では、社会と技術の学際的単元として、エネルギー変換の技術の視点を用いて、人々のニーズに応えられる避難所をデザインする学習に取り組みます。
このように、本校では、ある教科、更には教室だけで学びが完結するのではなく、様々な場面に応用できる学びを目指して取り組んでいます。

MYPとの接続を生かしてDPで深く学びます

DPでは、MYPで身につけた学び方を生かし、より学術的で探究的な学習に取り組みます。例えば、社会科の冷戦を扱う授業では、MYP段階では、自分たちで調べた冷戦に関する情報などをもとに、「本当にそうなの？」や「なんでなんだろう？」という視点から、歴史的見方・考え方、文化の多様性への理解などを深めます。DP段階になると、冷戦時期の出来事だけではなく、その発端としての第二次大戦で米ソが手を組めた理由などの冷戦の背景についても考察することで、自分たちの冷戦に関する解釈を構築していきます。
このように、本校では、中高一貫して全ての生徒がIBを通して深く学ぶことにより、一生涯学び続ける学習者の育成を目指しています。

STUDENT VOICE

生徒の声 「国際バカロレアプログラムでの学習」

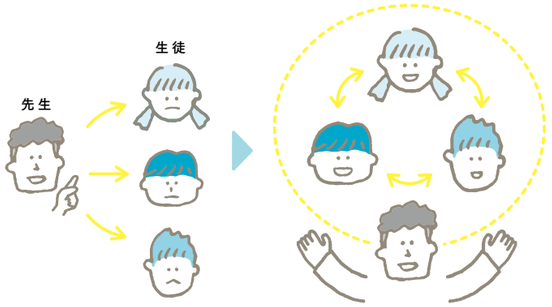
私は小学校2、3年生の時からこの学校を志願していました。国際バカロレアのプログラムが導入されているHiGAで、6年間かけ自分の今持っているスキルをさらに伸ばし、新しい力を身につけ、将来グローバルな世界の実現への貢献をしたいと思いました。受験勉強を毎日続けるのはかなり困難なことでしたが、おかげで以前の自分より大きく成長することができたと実感しています。

生徒の意見と
自己決定を尊重し

生徒の個性を最大限に

1 一人一人の生徒が主役

ここでは、「教師が教育を提供する側、生徒は教育を受ける側」ではありません。「教師も生徒も、一緒に教育を創る側」。生徒一人一人の「こんな学校にしたい」「こんな授業にしたい」という思いが、この新しい学校を創ります。



コミュニケーションの方向

先生はファシリテーター!（学びの促進者）　授業の主役は生徒です。

一人一人の「知りたい」という思いから自発的に研究

一人1台のICT端末を用いて、いつでもどこでも学びを深めます。

2 プロジェクト型の学び

「成功」も「失敗」もある「プロジェクト」へ。チャレンジすることは「成長のきっかけ」になり、子供たち自身で学びを深めることができる環境がこの学校にはあります。

生徒の声「学校生活で培われるもの」

学習の中では、島の外に出たり、島の中でさまざまな人と交流したりしながら進めていくようなプロジェクトも行われます。私は、実際にこのようなプロジェクトや活動を通して、コミュニケーション能力や、自分の意見を積極的に相手に伝える力をつけることができたと感じています。また、HiGAでは学びだけでなく、時期によって様々な楽しめるイベントがあります。このようなイベントは、先生方だけでなく、生徒たちが積極的に自分たちで作っていくことができます。このように、HiGAでは学び以外にも、プロジェクトやイベントなど、自分たちで積極的に作り上げ、全力で楽しめるような行事が多くあります。

生かす学習環境

ここで学び、身に付けたスキルは
世界中の様々な場所で生かすことができます。
このスキルは生徒たちの活躍のチャンスを増やしてくれます。

3 社会全体が私たちの学び舎

私たちの学びの場は、学校内だけではありません。「社会全体が私たちの学び舎」を合い言葉に、積極的に学校の外に飛び出し、様々な場所で学びを深めます。

瀬戸内海は最高の教材　山・海に囲まれた最高の自然環境や、そこで暮らす地域の人から様々なことを学びます。

カヤック実習

インターンシップ

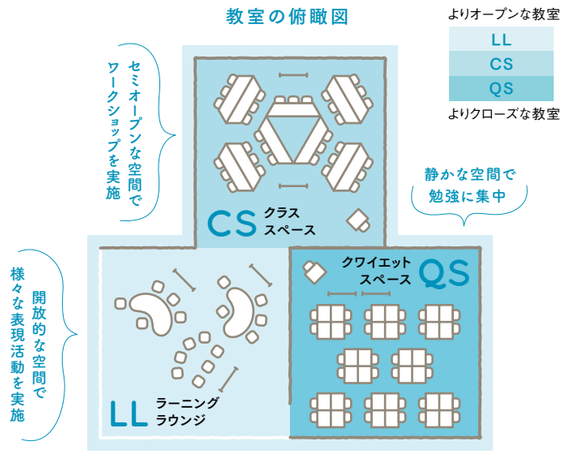
広島で学ぶ、広島を学ぶ

世界中から多くの観光客が訪れる広島。戦後復興等の歴史や世界遺産など、広島ならではの学習活動を行います。

平和記念公園での実習

4 多様な学習を可能にする学習環境

普通、「教室」は、四方が囲まれた閉鎖的なもの。でも、この学校の教室は、家でいう「リビング」です。オープンな環境の中で、リラックスして学ぶことができます。一人1台のICT端末、プロジェクター、ホワイトボード、模造紙など、生徒たちのCollaboration、Innovation、Creationを支える環境が整っています。



様々な授業スタイルに対応できる3タイプの教室

生徒のワクワクの
気持ちを大切に

6年間を通して学ぶ“ここ”でしかできない学習活動

HiGAならではの学習

未来創造科

HiGAで育てる

生きた英語力の育成

戦争、貧困、環境、エネルギー、食糧、少子高齢化、地域の衰退…。
世の中には、たくさんの課題があります。社会で起きている様々な出来事について、
「自分たちで課題を設定し、国籍や文化の違いを超えた仲間たちと
力を合わせて、課題の解決にチャレンジする」。
そして、「テレビや新聞に載っている課題」から、「自分たちの課題」に変える。
これが、本校の教育活動の核となる「未来創造科」（Global-Project Based Learning）です。

4つの視点 未来創造科の

3つのテーマ 未来創造科の

専門家によるワークショップ

様々な分野の第一線で活躍する専門家の方々をお招きします。「課題の見つけ方」「情報収集・整理分析の仕方」「議論の仕方」「アイデアの出し方」「表現・プレゼンテーションの仕方」など、プロジェクトを実行するために必要な多くの理論やモデルを学びます。

議論・フィールドワーク

解決策の創造に向けて、国籍や文化の違いを超えた仲間たちとの議論、現地のフィールドワーク、関係者へのインタビューなどを行います。特に中１では、大崎上島を中心としたフィールドワークを行い、自分の言葉で大崎上島や広島を語れるようになることを目指します。

大人たち（ステークホルダー）との協働

生徒たちだけでできる活動は限られています。解決策の実行に向けて、関係する大人たちに自分たちのプロジェクトを説明し、連携や支援について、交渉・調整します。

解決策の実行

「調べてまとめて発表」では終わりません。大切なのは、粗削りでも良いから、実際にプロジェクトを実行すること。きれいにまとめる必要なんてない。たくさん失敗しましょう。「失敗し、振り返り、次のプロジェクトに生かす」。そのプロセスの中にこそ、最高の「学び」があります。

小さな国際社会での生活が始まります。
少人数で各自のレベルに合った HiGAならではの英語の授業と
授業以外の放課後活動や寮でも、英語が飛び交います。

“リスニング”から“探究”へ

最初は、リスニングを中心としたインプットと、英語でコミュニケーションをとることのできる雰囲気を作ります。英語力の向上を目標としながら、少しずつ探究的な活動へとつなげていきます。

多読

生徒一人一人に合った本を読みます。読んだ後には、オンライン上にあるクイズに答えたり、音読したものを録音して確認をしたりしていきます。

レベルに応じた英語検定をステップアップの指標に

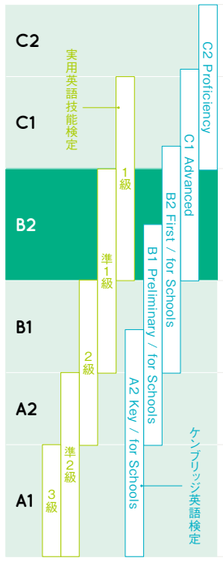
本校では、年間2回程度、英語力の指標としてケンブリッジ英語検定を用いた外部評価を行っています。DP（ディプロマ・プログラム）開始の高校1年生の冬までに、全生徒が CEFR B2 レベル（右図）に到達できるように、生徒は各自の英語力に応じた目標設定を行います。

5つの領域をバランスよく

聞くこと・書くこと・読むこと・話すこと・やりとりをすることの5領域をバランス良く育てていきます。日常会話表現だけでなく、英語で議論したり、論文を書いたりすることができるアカデミックな英語力を育成します。

オンライン英会話

海外にいる講師とマンツーマンで英会話をし、日常会話からアカデミックなトピックについてコミュニケーションを取ります。



C2	聞いたり読んだりした、ほぼ全てのものを容易に理解することができる。情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構築できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができる。	熟練した言語使用者
C1	いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文章を作ることができる。	
B2	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。	自立した言語使用者
B1	仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。	
A2	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。	基礎段階の言語使用者
A1	自分や他人を紹介することができ、住んでいるところや、誰と知り合いであるか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。	

（出典）ブリティッシュ・カウンシル、ケンブリッジ大学英語検定機構

学校生活を通し、仲間と
ともに学び、ともに成長する

かけがえのない仲間と過ごす日々の生活

6年間の共同生活を仲間と過ごすことで「自律心」「多様性と協働」「思いやり」など多くのものが育まれます。

ある平日の学校生活

自分で一日のスケジュールを考え、自己管理能力を培います。

おはよう!

健康観察は、各ユニットのリーダー生徒が中心に行います。

起床

朝食

おいしいご飯で1日頑張ろう

朝食をしっかり食べて一日のエネルギーをチャージします。

お待ちかねのランチ!

みんなで会話を楽しみながら食事を摂ります。

昼食

放課後活動

全寮制のこの学校では、放課後も大切な学びの場。A4LC（部活動）を通じて、仲間と共に目標の達成を目指したり、自己実現に向けたプロジェクト学習などを行います。

放課後

STUDENT VOICE

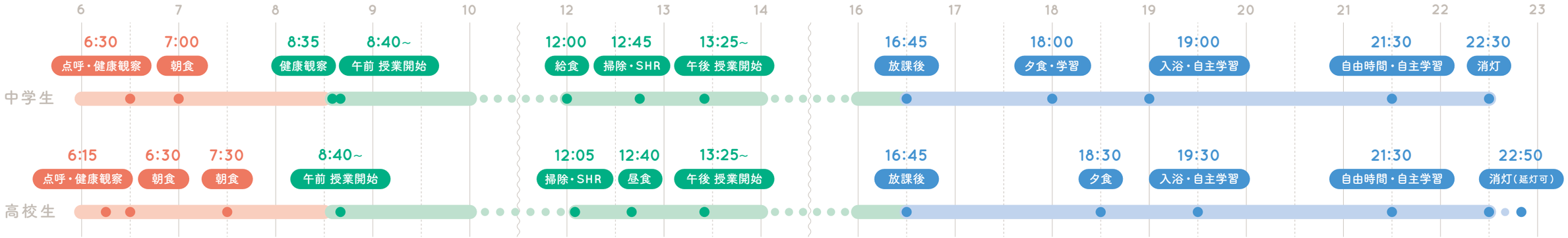
生徒の声 「A4LCでの活動」

A4LC では、先生から伝えられた活動や練習のみを行っていくのではなく、自分たちが自ら課題を見つけ、解決に向けて考え動くという活動も行っています。週2回のみの活動ということで、量よりも質を意識した活動になっています。ぜひ HiGA ならではの A4LC を一緒に楽しみましょう!

学習

ハウスマスターがサポート

入学当初は集団学習を行い、学習習慣を確立させます。高校段階のより計画的で自律した学びを見据えて、寮の居室内での自主学習を大切にしています。



栄養教諭からのことば

"HiGAごはん"で心と体の成長を

本校では、週末も含めて、1日３食を校内で調理・提供しています。 提供する食事は、栄養教諭や栄養士が献立を作成し、調理員が学校の食堂の中で調理をしています。 親元を離れて生活する生徒にとって、食事は最も楽しみなことの一つだと考えています。生徒からの感想や食事中の様子を見ながら、 献立の振り返りと改善を繰り返し、 おいしくて栄養満点の食事を追求しています。未来を担う生徒一人一人の健やかな成長を「食」を通してしっかりと支えていきます。

授業

仲間とともに学び合う

生徒の協働的な学びを基盤とする生徒主体の授業が展開されます。学びのフィールドは校内だけでなく、校外にも広がっていきます。

夕食

ここからは寮生活

夕食はユニットメンバー揃っていただきます。今日も一日お疲れ様!

入浴

仲間との絆を深める場

ゆとりある大浴場と個室のシャワー室を完備しています。自然と会話が生まれるランドリーラウンジで洗濯と乾燥ができます。

就寝

おやすみなさい

ユニットメンバーが開放的なリビングに集い、自治活動や１日の振り返りを行います。

万全のサポートと セキュリティがある のびのびと暮らせる

あたたかい空間

広大な敷地に建つ、木の香りが
漂う寮のなかで、寮スタッフに見守られながら
仲間とともに学びを深めます。

安心・安全な生活を守ります

サポート

「ハウスマスター」又は「ハウスサポーター」が寮管理棟に常駐します。また、教員も宿日直勤務により生徒を見守るなど、サポート体制を整えています。

セーフティ

各ユニットには、人数分の防災セットを常備しており、火災、地震、津波に対する避難訓練も定期的に行っています。島内には、5つの内科、1つの外科があり、日常的な病気やけがには十分対応可能です。万一の事態には救急艇やドクターヘリが稼働します。

セキュリティ

寮スタッフが常駐する管理棟を通過しなくては、寮がある「生活エリア」には入れません。また、男子寮と女子寮の間を行き来することはできません。寮周辺はフェンスや警戒センサーで取り囲み、防犯カメラや電気錠のゲートを設置するなど、安心・安全な環境を整えています。

STUDENT VOICE

生徒の声 「寮での生活」

HiGAの大きな魅力が寮生活だと思います。朝から晩まで友達と一緒にいるので、嬉しかったことや楽しかったことなど、思いをすぐに共有できたり、勉強をお互い教え合ったりできて、とても楽しいです。また、先輩や寮のスタッフの方、先生方がサポートしてくださり、安心して生活したり勉強したりできる環境が整っています。いろいろな方々のサポートで、寮生活を通して自律の心や思いやりの心などを育むことができます。

仲間と家族のように関わるユニット

多国籍　異年齢　共同生活

留学生を含む異年齢・多国籍の集団（ユニット）を構成し、共同生活を送ります。個室と２人部屋があり、各部屋には、落ち着いて学習できるスペースとベッドを完備。また、開放的なリビングでは、ユニットメンバーの交流が自然と生まれます。ユニットではリーダーが中心となり、後輩たちの支援や指導を行います。

ハウスマスターからのことば

将来の糧となる寮生活を送ろう

HiGAの寮では、10人単位のユニットで生活をします。ユニットではユニットリーダーを中心に、それぞれが役割を果たしながら生活をしています。生活係や衛生係など係活動はもちろんですが、点呼前にみんなに声を掛ける人、みんなが集まる時に話題を提供する人など、ユニットメンバーの中で自然に発生する役割も沢山あると思います。私たちハウスマスターは、皆さんが寮生活の中でそれぞれの役割を見つけ居場所をつくれるようなお手伝いをしています。寮生活では、楽しい事だけでなく、大変な事も沢山ありますが、HiGAを卒業する時にその全てが特別な思い出になる事を願っています!

学校施設

大崎上島の美しく豊かな自然の中で学ぶ

多島美や自然の豊かさから、海外からも
注目を浴びる瀬戸内海。そのほぼ中央に位置する
大崎上島に、本校は誕生しました。
豊かな自然に囲まれ、のびのびとした全寮制の
キャンパスは、生徒の知的好奇心や感性を育みます!

①サイエンスセンター
知的好奇心を刺激する、実験や演習を通した探究活動空間。

②数社教室棟
数学科・社会科を中心に授業が展開される教室空間。

③アート＆クラフトセンター
感性を磨く、ものづくりを重視した表現・創造活動空間。

④図書メディアセンター
本校の「知」の拠点。多様な集団による協働・創造活動を支援。

⑨グラウンド
海岸沿いの広大なスポーツエリア。

⑩テニス・バスケットコート
テニスコート3面、バスケットコート1面を完備。

⑪体育館
木の温もりに包まれたスポーツ空間。

⑫小体育館
独創的でアクティブな活動空間。武道からダンス、ヨガなど、多目的に活用。

⑤言語教室棟
国語科・英語科を中心に授業が展開される教室空間。

⑥F.L.A（フレキシブルラーニングエリア）
教室棟の F.L.A。どんな活動にも柔軟に対応、生徒の動線上にある多目的な活動空間。

⑦学びの回廊
本校のシンボル。授業の合間、生徒たちが語らう憩いの場となります。

⑧管理棟（職員室・事務室）
多国籍なスタッフが常駐。生徒の学園生活を温かくサポート。

⑬寮ハウス
異年齢・多国籍の仲間と暮らす、メゾネットタイプの快適な居住空間。

⑭カフェトリウム
コンサートやミュージカルも開催!ホールも兼ねた開放的な食事空間。

⑮カフェテリア
自然に会話が盛り上がる空間。家庭科室のほか和室等も完備。

⑯芝広場
多様な交流が新たな価値を創出。イノベーションを生み出す源泉。

周辺環境

寮生活を通し、仲間とともに学び、ともに成長する

人も自然も魅力いっぱいの大崎上島

瀬戸内海の真ん中に浮かぶ大崎上島。
島外の方は、まずは是非一度、
ご家族でお越しください。
本州から島までは、約30分のフェリーの旅。
島内の神峰(かんのみね)山から見える多島美は、
きっと忘れられない景色になることでしょう。

大崎上島の魅力 1

大串海水浴場

白い砂浜が約1kmも続く外浜海岸に隣接する風光明媚なロケーション!

大崎上島の魅力 3

瀬戸内の多島美を一望

瀬戸内海国立公園に指定されている神峰山（標高453 m）からは瀬戸内海に浮かぶ大小115の美しい島々が眺望できます！

大崎上島の魅力 2

大自然を味わいつくす

海水浴・シーカヤック・キャンプなど大自然でのアクティビティを満喫できます！

大崎上島の魅力 4

教育環境

島内には小学校３校、中学校１校のほか、県立大崎海星高等学校や三原特別支援学校大崎分教室、国立広島商船高等専門学校があります。

大崎上島の魅力 6

ゆったり温泉で癒される

眼前に広がる瀬戸内海の大パノラマを堪能しながら、のんびりゆったり絶景露天風呂で癒されます。

大崎上島の魅力 5

温暖な島の「うまいもん」

季節になれば、瀬戸内の太陽をいっぱいに浴びたレモン・みかん・ブルーベリーなどがたわわに実り、フルーツの優しく甘い香りに包まれます。

大崎上島の魅力 7

夏を彩る伝統と祭り

200年の歴史を持つ伝統行事「櫂伝馬競漕（国土交通省『島の宝100景』）」や夜空と海面に映える幻想的な花火は圧巻です！

広島から竹原港へのアクセス		
広島空港⇒竹原港	バス約30分	6便/日
広島駅⇒竹原港	バス約70分	12便/日
広島バスセンター⇒竹原港	バス約85分	12便/日

大崎上島へのフェリーでのアクセス		
竹原港⇒垂水港・白水港	約30分	32便/日
安芸津港⇒大西港	35分	16便/日
大崎下島⇒明石港	15分	12便/日
今治・宗方港⇒木江港	約70分(今治～) 15分(宗方～)	6便/日

大崎上島内の交通機関	
町内循環バス	16便/日
路線バス 大串⇔大西港・明石港	8便/日

※交通状況等により、所要時間が大幅に変更になる可能性や、上記が最短のルートとはならない場合があります。事前にご確認ください。

REPORT 01

GO OVERSEAS!

海を越えて国外でも活動!

カケハシプロジェクトへの参加

「カケハシプロジェクト」は、とても興味深いプロジェクトでした。この機会に、これまであまり目を向けてこなかった日本の文化や、アメリカの文化に目を向けることができました。カルチャーショックを受けたこともありましたが、文化の違いを楽しむことができました。また、参加する前は、海を渡って無事に帰ってこれるのか、現地で新しい人脈ができるのか、少し不安なことはありましたが、アメリカで現地の高校生たち、地域の方と新しいつながりをたくさん作ることができました。機会があればまたこの様な海外との交流プログラムに参加したいと思っています。

【カケハシプロジェクトとは】

一般財団法人日本国際協力センター主催の海外渡航プログラムです。高校生9名が参加し、ワシントン D.C. の現地の高校や企業を訪問し、日米相互の文化等について学びました。

プリムス・グローカル・リーダーズ® への参加

Oxford 大学の college の一つの寮に宿泊し、大学生や大学院生などと交流しながらイギリスの文化・歴史について学びました。今回参加したプログラムは単なる語学学習だけではなく、"Glocal" なリーダーになるために必要なスキルや考え方を学ぶものであり、それは HiGA の理念と一致する部分が多くありました。習慣も文化も、もちろん言語も違う環境での生活は困難も多くありましたが、自分自身の成長の機会と捉え、様々なものを学びながら過ごすことができたと思います。

【プリムス・グローカル・リーダーズ®とは】

株式会社 Primus Edge 主催の国内オンライン講座とオックスフォード大学現地研修から成る次世代グローカルリーダー輩出プログラムです。高校生10名が参加し、学術英語や英国文化等について同大教授や学生と学びました。

REPORT 02

ENROLLING IN HIGA FROM OVERSEAS

海外からHiGAに入学して

The reason why I chose HiGA is that the school is very unique. HiGA emphasizes group work and respects the ideas of each person.

私が HiGA を選んだ理由は、この学校がとてもユニークだからです。HiGA はグループワークを重視し、一人ひとりの考えを尊重します。

I have begun to learn more about my ideas, values, and ways of studying that are more appropriate to my needs, time, and long-term goals.

自分の考え方や価値観、ニーズや時間、長期的な目標に合った勉強の仕方などを知ることができるようになりました。

広島県立広島叡智学園 中学校・高等学校校歌

作詞　広島叡智学園 第1期生
　　池田 耕二（広島叡智学園教職員）
作曲　池田 耕二

1番の歌詞

It's gifted to us on this holy island in the Seto inland sea.

We promise what we'll accomplish

for those who made their dreams come true here long ago.

Although the billows block the way, we keep going.

We'll move forward on the front lines until we see.

This we will do for everyone's well-being.

Let us learn wisdom so we will find the way to go.

2番の歌詞

清らかな水面に映ゆるこの瀬戸の地に

積年の夢遂げた先人へ誓おう

時を先駆けこだまする想いは大洋を越えて

諸人の待つ未来へいざ育まん我が叡智を

[英文和訳]
我々は瀬戸内にあるこの神聖な島で
それを受け継いだ
かつてここで夢を成し遂げてきた
人々へ我々が達成すべきことを誓う
大波が行く手を阻もうとしても
我々はそこに至るまで先頭に立ち進み続ける
全ての人々の幸せの為に
我々が進むべき道を見出す為の知恵を賜う

本校が建てられた土地は、かつて地域住民による干拓事業によって開かれ、その苦難を描いた物語が演劇を通して地元小学校の児童たちに語り継がれている。この歌詞は、未来の繁栄を願って干拓に関わった人々や本校の設立に携わった人々の思いを受け継いだ者として、広島叡智学園の生徒がグローバルな視野に立ち、社会の持続的な平和と地域や世界のより良い未来を創造するリーダーとして国際社会に貢献することを目指した学校のビジョンを表している。また英語の歌詞においてそれぞれの行の最終単語は韻を踏んでいる。

STUDENT VOICE

生徒の声「学校生活で培われるもの」

私たち 1 期生有志は、先生が作成した曲に合わせた作詞を、開校 2 年目を迎えたあたりから作成し、およそ 1 年間かけて完成しました。この校歌は、一音一音を生徒一人一人の個性として表現しています。多くの音を使用していても音の響きが混雑することなく一つの曲としてまとまっている様子は、HiGA の生徒一人一人がそれぞれの背景で育ち、多様な考え方をしていることをお互いに認識しながらも個性を認め合い、HiGA というコミュニティとしてまとまっている様子を表しています。また、歌詞の一番は英語、二番目を日本語にすることにより、HiGA の特徴であるグローバルな学校を表しています。

校長からのメッセージ

福嶋　一彦
Kazuhiko Fukushima
広島叡智学園中学校・高等学校／
HiROSHIMA GLOBAL ACADEMY（HiGA）校長

児童のみなさん、保護者の皆様、変化が激しく先行きが見通せない社会を逞しく生き抜き、地域や社会の「よりよい未来」を創造できるリーダーとはどのような姿を思い浮かべるでしょうか。本校は開校から5年目を迎え、生徒数も200名を超える規模の学校となり、IBの教育プログラム（ミドル・イヤーズ・プログラム（MYP）及びディプロマ・プログラム（DP））を通して生徒たちの様々な探究的な学びとその努力の成果が現れつつあります。

本校中学校で学ぶ生徒は、広島県はもとより、全国各地から集まってきており、さらに、高等学校では、本校中学校から進学した生徒に、世界各地に居住した経験がある留学生が加わり、全国でも類を見ない多様性溢れる学習環境・生活環境となっています。

生徒の心と身体の成長を土台から支えている寮生活では、異学年・多国籍の集団による共同生活によって、学年や文化の壁を越えて支え合い、共に学び、安心・安全な生活を送ることができる寮となるよう、教職員・寮職員が力を合わせて生徒たちの生活をしっかりと支えてまいります。

近い将来、この恵まれた自然と学習環境の中で生徒たちが「未来に向かう学び」を実現し、「世界へと続く扉」を自らの手で開き、大崎上島から世界へ、グローバルリーダーとして巣立っていくことを心から願っています。

福嶋　一彦

学校概要

設置形態	併設型中高一貫教育校
課程・学科	全日制課程普通科
学期	3学期制
学校規模	中学校：1学年40人 高等学校：1学年60人
寄宿舎	設置（全寮制）
卒業資格	日本の高等学校卒業資格 国際バカロレア（IB）資格

学費・寮費

	中学校	高校
授業料※1月額	―	9,900円
諸費※2月額	1万円程度	1万円程度
寮費※3月額	4.4万円程度	4.3万円程度
月合計※4	5.4万円程度	6.3万円程度

※1 授業料について、中学校は無償です。高校については、一定の収入額未満の世帯の生徒に対しては、高等学校等就学支援金として、授業料相当額が支給されます。
※2 諸費には、教育活動費（教材費、英語に関する外部検定試験の受験料、学習に関するオンラインプラットフォームの使用料等）や設備使用料（空調費等）などが含まれます。
※3 寮費には、食費、光熱水費、共益費、活動費などが含まれます。
※4 諸費及び寮費は見込額であり、今後変更となる場合があります。

その他のご負担

- 高等学校入学料（5,650円）
- 学用品費等（楽器、グラフ電卓等、教科書〈高校のみ〉）
- プロジェクト学習などの学習活動に係る交通費等（海外の場合も含む）

※ 学用品費等の具体的な金額については、入学予定者説明会において、お知らせいたします。
※ プロジェクト学習などの学習活動に係る交通費等の具体的な金額は、生徒たちが決定する学習活動の内容によって異なります。

保護者負担の軽減に関する各種支援制度があります
詳しくは、広島県教育委員会へお問い合わせください。

中学校入学までのスケジュール

出願書類等受付	令和５年10月23日（月）～11月２日（木）
第１次選抜	令和５年11月19日（日）
第２次選抜	令和５年12月25日（月）～12月27日（水）
合格者発表	令和６年1月11日（木）
入学予定者説明会	令和６年２月
入学式	令和６年４月

※ 第1次選抜、第2次選抜いずれも、広島県内で実施します。
※ 第2次選抜は、第1次選抜の通過者を対象として実施します。

中学校生徒募集

応募資格	次のいずれかに該当する方が出願できます。 ①令和６年３月に小学校若しくはこれに準ずる学校を卒業する見込みの者又は義務教育学校の前期課程を修了する見込みの者 ②令和６年４月に中学校又はこれに準ずる学校の第１学年への入学対象となる者
募集人数	40人
検査の内容	第１次選抜 適性検査・面接を実施する。 第２次選抜 ２泊3日の共同生活においてグループワーク・面接・振り返り文作成を実施する。 ※第1次選抜、第2次選抜とも、「英語力」については検査しません。

※ 詳細については、「入学者選抜実施要項」（9月公表予定）にて、お知らせします。
※ 広島県外在住の方も出願できます。

高等学校生徒募集

応募資格	次のいずれかに該当する者が出願できます。 ①外国籍を有し、平成19年４月２日～平成21年12月31日に出生した者で令和６年８月までに中学校を卒業した者又は卒業見込みの者。 ②日本国籍を有し、平成19年４月２日～平成21年４月1日に出生した者で令和６年８月までに中学校を卒業した者又は卒業見込み、かつ、海外の学校での修学期間が５年以上ある者。
募集人数	20人 ※ただし、広島叡智学園中学校からの入学人数により、20名以上となる場合があります。
検査の内容	書類審査を通過した者に対して、提出書類に基づいた面接及び口頭試問を行います。

※ 詳細については、「令和６年度広島県立広島叡智学園高等学校外国人生徒等を対象にした入学者選抜実施要項」をご確認ください。

よくあるご質問

Q. 制服はありますか?

A. あります。入学式や卒業式などの式典や、学校が指定する活動において、次の制服を着用します。

春秋冬用制服として、ブレザージャケット(紺色)、夏用制服として、半袖ポロシャツ(白色、ポケット付)があります。なお、ズボンやスカートは原則として自由です。また、式典等の日以外の、日常の授業や寮生活においては着用は義務ではありません。

Q. 帰省・外出できるのですか?

A. 必要な手続きをとった上で帰省・外出することは可能です。

週末は、門限の制約等の一定のルールのもと、基本的には外出可能です。
夏休み・冬休み・春休み等は一斉に帰宅をすることとしています。(交通費は、ご家庭の負担となります)

Q. 生徒に会うために保護者が学校に行けますか?

A. 保護者の方をお招きする学校行事等の機会には、是非お越しいただきたいと考えています。

週末などについては、事前にご連絡をいただくなどの一定のルールのもと、お越しいただくことは可能です。
お車でお越しの際は、校内の来客用駐車場をご利用ください。

Q. 電話やメールなどで、生徒と連絡を取ることは可能ですか?

A. 可能です。

携帯電話・スマートフォンについては、使用時間の制限等の一定のルールのもと、寮においては使用することができます。

Q. 食物アレルギーへの対応はありますか?

A. あります。

文部科学省の食物アレルギー対応指針に沿って対応しております。安全性を最優先に完全除去対応を基本としております。

Q. 現在、日本の小学校ではなく、インターナショナルスクールに通っているのですが、受検することは可能ですか?

A. インターナショナルスクールに通っておられる場合は、個別にご相談ください。

なお、本校への出願資格は、令和６年３月に小学校若しくはこれに準ずる学校を卒業する見込みの者又は義務教育学校の前期課程を終了する見込みの者か、令和６年4月に中学校又はこれに準ずる学校の第1学年への入学対象となる者です。

広島県立 広島叡智学園 中学校・高等学校
HIROSHIMA GLOBAL ACADEMY Junior & Senior High School

お問い合わせ
0846-67-5581 https://higa-s.jp/
〒725-0303 広島県豊田郡大崎上島町大串 3137-2 @higa.ed.jp

広島県の「学びの変革」を応援しませんか?
広島叡智学園への寄附をお願いします。 学びの変革 寄附 検索
広島版「学びの変革」推進寄附金は、ふるさと納税の対象となります。詳しくは「広島県教育委員会」HPをご覧ください。
Design & Illustration Haruka Kuga